

授業科目名:メディカル・プロフェッショナリズムⅤ

1. 教育目標(GIO):

- 1) 医療事故が社会問題化した背景、国・医学界の対応、医師としての心構えについて理解する。
- 2) 職域における保健・医療活動の実際を理解し、医師の社会的役割、医師に求められるパブリックヘルス・マインドについて学ぶ。
- 3) わが国の終末期医療における延命治療の現状を理解し、その法的課題と医師のとるべき行動について学ぶ。

* 本科目は、医療政策・管理学教室、法医学教室、衛生学公衆衛生学教室の社会医学系 3 教室が共同で担当する。

2. 講義予定

| 回 | 月・日 | 曜日 | 時限 | 講実 | 授業タイトル | 担当者 |
|----|----------|----|----|----|--|----------------------|
| 1 | 2014/5/7 | 水 | 1 | 講義 | 全体オリエンテーション | 池上直己 |
| | | | | | テーマ1:「医療事故の再発防止と紛争回避」 医療安全についてのレクチャー | |
| 2 | 2014/5/7 | 水 | 2 | 講義 | テーマ1: 各グループに分かれて課題を討論&発表準備 | 藤田眞幸 飯野守男 |
| 3 | 2014/5/7 | 水 | 3 | 演習 | テーマ1: 各グループ発表&討論1 | |
| 4 | 2014/5/7 | 水 | 4 | 演習 | テーマ1: 各グループ発表&討論2 | 藤田眞幸 飯野守男 |
| 5 | 2014/5/8 | 木 | 1 | 講義 | テーマ2:「職域で求められる医師の姿を考える」産業保健現場で活躍する医師によるレクチャー | |
| 6 | 2014/5/8 | 木 | 2 | 演習 | テーマ2: 各グループに分かれて課題を討論&発表準備 | |
| 7 | 2014/5/8 | 木 | 3 | 演習 | テーマ2: 各グループ発表&討論1 | |
| 8 | 2014/5/8 | 木 | 4 | 演習 | テーマ2: 各グループ発表&討論2 | |
| 9 | 2014/5/9 | 金 | 1 | 講義 | テーマ3:「終末期医療における延命治療」 延命治療の法的課題についてのレクチャー | 池上直己 吉村公雄 池田 漠 |
| 10 | 2014/5/9 | 金 | 2 | 演習 | テーマ3: 各グループに分かれて課題を討論&発表準備 | |
| 11 | 2014/5/9 | 金 | 3 | 演習 | テーマ3: 各グループ発表&討論1 | |
| 12 | 2014/5/9 | 金 | 4 | 演習 | テーマ3: 各グループ発表&討論2 | |

●授業場所:

3. 講義・演習の内容

第1～4回 5月7日(水) 第1～4時限:「医療事故の再発防止と紛争回避」(担当者:藤田眞幸、飯野守男)

GIO:医療事故の再発防止と紛争回避に必要な知識を身につける

SBO:(1)再発防止における死因究明の役割を説明できる。

SBO:(2)事故の原因と再発防止のための改善点についての検討ができる。

SBO:(3)事故に関係した医師の気持ち、立場を理解して、陥りやすい問題について説明できる。

SBO:(4)事故の犠牲となった家族の気持ち、立場を理解して、どのような点が納得できないかについて説明できる。

SBO:(5)紛争はどのようにして解決されていくかについて説明できる。

第5～8回 5月8日(木) 第1～4時限:「職域で求められる医師の姿を考える」(担当者:武林 亨)

GIO:職域における保健・医療活動の実際を理解し、医師の社会的役割、医師に求められるパブリックヘルス・マインドについて学ぶ

SBO:産業保健の具体的事例の検討を通じて、働く人々の健康の維持・増進を図るための医師の役割について理解するとともに、社会の変化に対応できる医師のあり方について考えることができる。

第9～12回 5月9日(金) 第1～4時限:「終末期医療における延命治療」(担当者:池上直己、吉村公雄、池田 漠)

GIO:わが国の終末期医療における延命治療の現状を理解し、その法的課題と医師のとるべき行動について学ぶ

SBO:わが国の終末期医療における胃瘻などの具体的な課題、及び司法の判断などを通じて、終末期医療の現況、法律的課題を理解するとともに、医師のとるべき行動について考えることができる。

4. 教科書、参考書

特になし

5. 評価方法

発表グループに対する教員の評価と発表グループ内の個人間相互評価を加えたものによる。